



今年度も折り返しを過ぎた今、子ども同士の関わりがとて増えてきたことを感じています。今月も、さまざまな活動を通して、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。



心温まる触れ合いもあれば面白いやりとりや思いを一生懸命伝えようとする姿などたくさんあります。今、保育者や友だちと心地よい関係に身をおくことや心地よいやりとりを経験することが人と関わる上で大事な土台となっていく為、その土台作りの援助を大切にしていきたいと思っています。

園庭には魅力的な自然がたくさんあります。



園庭へ出ると草花・木など身近な環境に目を留め心ひかれ角張っています。



自分でやってみようとする姿が増えてきました。自分で靴箱から靴を持ってきたり靴下を手にとった。自分の姿が見られるようになってきました。靴下のかかとをそと外してあげると自分でひばたり靴下のマジックテープを自分でくっつけ、「できた!」という花唄をみせてくれます。

園庭が安心して伸び伸びと動ける環境となり探索への意欲が高まっています。



テイクタイム! お散歩車に乗ったり歩行車のチャリンツもしました。



身近なものに興味をもち、自ら行動しようとする意欲が育っています。



～今日より新しいお友だち～

が仲間入りします。

うさぎ組にお姉ちゃんがいます。仲良くして下さいね。



「今日のねさ」
おなかのすいたくまさんが森の中を歩き好きなものをたくさん食べます。お腹いっぱい食べる喜びを感じられます。

「今日のねさ」

・季節の変わり目のなか、体調周りに配慮してもらい健やかに生活する。
・秋の自然の中でのびのびと体を動かしたり葉や枝など季節のものに触れたりしてさまざまな感じとる。わらわら うまはとしとし